

国立大学法人静岡大学の平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

静岡大学は、「自由啓発・未来創成」のビジョンに基づき、人材育成を旨とし、質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学を目指している。第2期中期目標期間においては、教職員と学生が相互に潜在能力を引き出し、知と文化を未来に承継・発展させることなどを目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、大学教育センターと学生支援センターが相互に連携・協力して、キャリアデザイン教育の充実を図るなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

2 項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化)

平成23年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 育児、保育等女性の働く環境の改善のため、平成22年度に試行した学童保育の実施結果を検証し、夏休みと春休みの学童保育を正式にスタートさせたほか、多目的保育施設「たけのこ」の整備を行い、業者との協定により一時保育を実施するなど、支援制度の充実を図っている。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

(①財務分析結果の活用、②外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、③経費の抑制、④資産の運用管理の改善)

平成23年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 総人件費改革を踏まえた人件費削減については、平成18年度からの6年間で6%以上の削減が図られている

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載6事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

(①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進)

平成23年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 監事による監査において、技術職員の高齢化に対応すべく、人員の補充、技術の伝承・指導等に対応すべきとの意見を踏まえ、平成24年4月から、部局毎に組織されていた技術部職員を全学組織に集約することを決定している。
- 大学支援組織「静岡大学サポーターズクラブ(仮称)」の創設にあたって、同窓会と情報交換を行い、準備委員会に学部同窓会から選出された委員が就任するなど、大学の新たな構想に参画してもらい、協力関係を強化している。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載7事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

(①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守)

平成23年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 安全保障輸出等管理室を設置し、担当者の配置や受付窓口の設置など必要な体制整備を行うとともに、大学ウェブサイトによる情報の提供や研究活動の実態調査(スクリーニング調査)を行うなど、安全保障輸出管理に取り組んでいる。
- 温室効果ガス総排出量と電気・ガス・水道等のエネルギー使用量の関連性を見やすく掲載した「環境報告書2011」を作成し、外部評価を実施した取組が評価され、環境省及び財団法人地球・人間フォーラム主催の環境コミュニケーション大賞・環境配慮促進法特定事業者賞を受賞している。

平成23年度の実績のうち、下記の事項に**課題**がある。

- 会計検査院から指摘を受けた土地・建物等の処分及び有効活用に関する処置要求については、策定した計画に従って着実に実施することが期待される。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載7事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

II. 教育研究等の質の向上の状況

平成23年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- これまでの取組や業績等を踏まえて、世界をリードする独創的な研究を推進するため、重点4分野（アジア研究、極限画像科学、ナノバイオ科学、グリーン科学技術（環境・エネルギー科学技術））の研究推進と総括を目的として、研究企画室内に超領域研究推進本部を立ち上げ、超領域国際シンポジウムや研究会を開催している。
- 地域関係者と学生・教職員が連携して取り組む活動を支援することを目的に、地域連携応援プロジェクトを学内公募し、「静岡市における産業遺産の振興を目的としたガイドマップ作成事業」等、7事業について経費支援をするとともに、成果報告会を開催した。
- 大学教育センターにおいて、学生支援センターと連携・協力して、キャリアデザイン関係授業を実施し、学生ピアサポート団体の設立準備、キャリアデザインに関する学生の意識調査、静岡県内の地域産業を起点としたインターンシップを実施している。
- 共通科目の講義「大学を考える」では、理事・事務局長と職員が各1回授業を担当し、授業を通して学生たちと交流し意見交換を行ったほか、講義「キャリアデザイン」では、若手職員を中心に数人が大学の仕事とその社会的意義について授業を行う教職協働を進めている。
- タブレット型多機能情報端末やDVDを活用した「キャリア形成ガイダンス」用の教材を開発し、活用を開始している。
- 就職支援に関する情報を一括提供できるスマートフォン対応アプリケーションを開発し、提供している。

III. 東日本大震災への対応

- 東日本大震災の復旧・復興につながる大学の研究活動の成果を「知の貢献」として、ウェブサイトで公表し、問い合わせに応じている。

- 被災学生に対し、寄附金を基に「静岡大学特別奨学給付金制度」による経済的支援を行っているほか、入学料・授業料の特別免除を実施している。